



日出谷小だより

学校教育目標【明日をつくる日出谷の子 よく考える子 思いやりのある子 たくましい子】

失敗や思いどおりにならないことも成長につながります

校長 須田 肇

「教室はまちがうところだ」という蒔田晋治さんの詩があります。子供はまちがいながら本当のことを見つけたり伸びていったりするという。ドキドキ感の大切さやまちがうことを恐れて萎縮しないでというメッセージが豊かに表現されている詩です。(絵本にもなっています)

その中に「これから人間になろうとしているぼくらがまちがったって なにかおかしい あたりまえじゃないか」という一節があります。子供は、まちがいや失敗の経験からでも成長するものです。子供自身がまちがうことを前向きにとらえ、自分の成長につなげていくことが大切です。失敗を「許さない」「させない」というだけでは成長しません。

また、秋草学園大学の植草名誉教授は、「思いどおりにならない現実の中で、どう生きていくかを考えさせるのが教育の役割である」と話しています。思いどおりにならないことも子供の成長には本来不可欠なものであり、その現実に対峙する生きる力を身に付けることが大切なのだということです。子供に「失敗や嫌な思いをさせないように」という大人の配慮が行き過ぎると、子供は「すべて思いどおりになるはず」という行き過ぎた個人主義や万能感を身に付けてしまいます。また、「思いどおりにならないのは自分以外の〇〇のせい」という考えをもってしまう恐れもあります。



子供が、「失敗も成長につながる(つなげる)大切な経験」「思いどおりにならないこともある」という前向きな考え方ができるようになることが大切だと思います。もちろん許されない失敗もあります。そういうことを分かったうえで、子供が自分や友達の失敗に対して「失敗してもいいんだよね」「失敗することも大切なんだよね」「次にどうするかを考えるんだよね」と考えられる、強くて豊かで優しい心をもつ人に育つといいなと願っています。

11月27日(水)校内持久走大会の健康観察・参加署名を忘れずに
大会前に改めてのお願いです。大会(予備日も同様)実施において

- 「① 当日の体温・朝食・睡眠時間」
- 「② 参加・不参加のチェック記入」
- 「③ 保護者印又はサイン」
- 「④ 健康観察用紙(用紙そのもの)」



※保護者の方による
ペン書きで

を忘れないようにしてください。ご家庭での確実な対応と確認をお願いします。
どうぞ、悲しい思いをする子供がでませんようご協力をお願いします。